

<教育利用> ② 2年生数学科での実践事例

平行と合同 「証明の予想問題を作る」

- ① 定理の証明を対話型生成AIにさせ、正誤は生徒が判断し訂正した。
(ハルシネーションも学びに活用)
- ② 対話型生成AIに出題形式を問いつつ、証明問題を作成した。
(アイデア (たたき台) の活用)
 - ・ 証明問題にはどのような出題形式があるのか。
(記述式・穴埋め式)
 - ・ 生成AIが出力したテキストを批判的に捉えながら、正誤を判断して問題を作成する。

